

# フィルムコンデンサの製造技術および市場・技術動向

－ フィルムコンデンサのトレンド、求められる要素技術の習得を目指して －

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260662>

1名分料金で  
2人目無料

- ◆日時:2026年06月08日(月) 12:30～16:30
- ◆【WEB限定セミナー】在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆受講料:1名につき 49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から  
・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。  
・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師: マシン・テクノロジー(株) 代表取締役 加瀬部 強 氏

#### 【講演の趣旨】

地球環境問題意識の高まりと各国の方針から、ゼロエミッション化が世界的な潮流となっており、今後早い段階でCO2を排出しない脱ガソリン車へと向かっています。これらの基本要素技術はモーターを駆動するインバーター回路から成り立っており、小型・軽量や高効率化、耐熱性が課題となっています。このような背景のもとで、インバーターメーカーや自動車産業が着目している要素部品としてフィルムコンデンサがあります。

従来、これらの用途ではアルミ電解コンデンサを使用されてきましたが、フィルムコンデンサの技術発展によりインバーター用コンデンサ市場に大きな変化が現れました。また、最近ではフィルムコンデンサに求められる要求も進化しています。

そのような中、本セミナーでは、フィルムコンデンサを中心とした市場動向、業界及び技術動向を詳しく解説し、特に今後のトレンドであるフィルムコンデンサの耐熱性の取り組みや、巻回型のコンデンサ以外に積層型コンデンサについても紹介いたします。

#### 【プログラム】

1. 車載用フィルムコンデンサの技術トレンドと市場動向
  - 1-1 はじめに
  - 1-2 アルミ電解からフィルムコンデンサへ
  - 1-3 フィルムコンデンサの技術革新
  - 1-4 フィルムコンデンサ製造技術
  - 1-5 フィルムコンデンサの構造
  - 1-6 フィルムコンデンサの自己回復性
2. HEV・EV用フィルムコンデンサの仕様推定
  - 2-1 小型化
  - 2-2 耐熱化
  - 2-3 安全性
  - 2-4 コンデンサへの要求まとめ
3. 市場動向
  - 3-1 自動車メーカーの動向
  - 3-2 既存材料メーカーの動向
  - 3-3 フィルムコンデンサ開発事例(巻回型、積層型)
4. 今後の技術革新動向
  - 4-1 市場要望
  - 4-2 新たな素材の開発動向、積層化への動向
  - 4-3 コンデンサメーカーからの要望
5. まとめ

### 『フィルムコンデンサ』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>